

経営比較分析表

岡山県 早島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A7
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	78.37	100.00	1,561

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,293	7.62	1,613.25
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
12,287	7.62	1,612.47

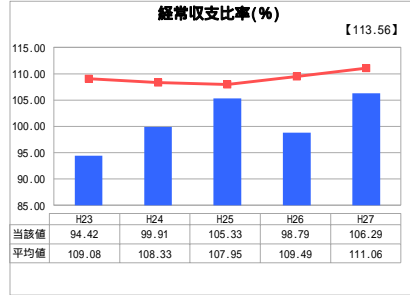
グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

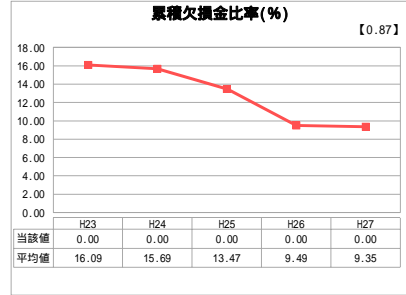
○ 類似団体平均値(平均値)

【】 平成27年度全国平均

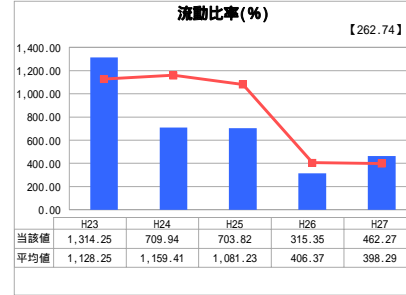
1. 経営の健全性・効率性



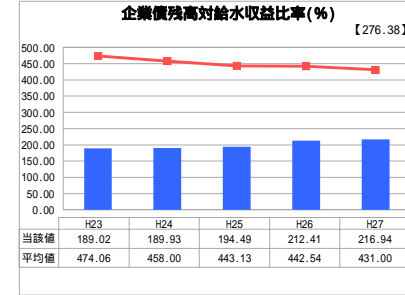
「経常損益」



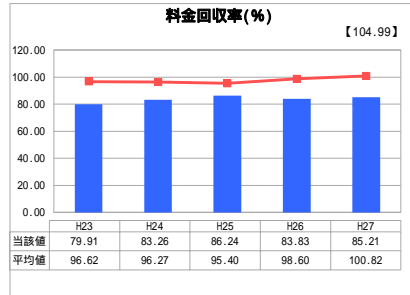
「累積欠損」



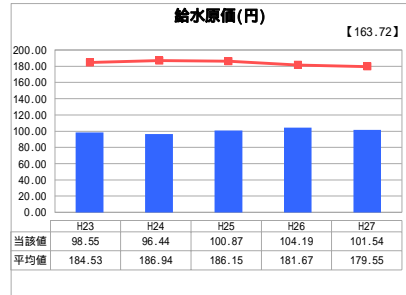
「支払能力」



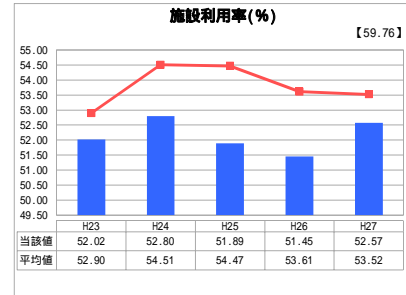
「債務残高」



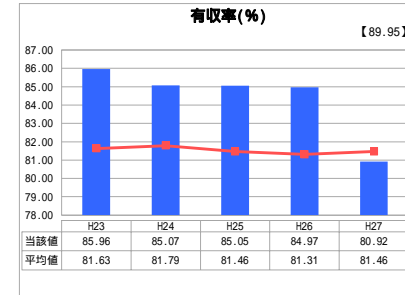
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

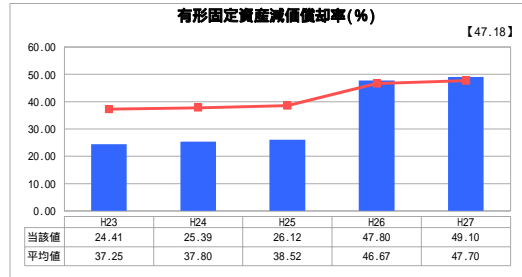


「施設の効率性」

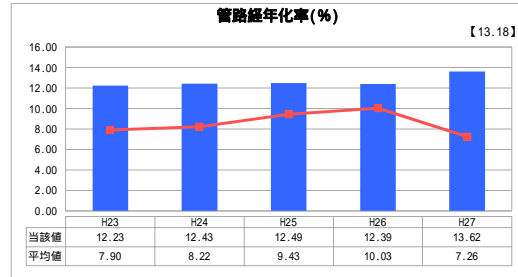


「供給した配水量の効率性」

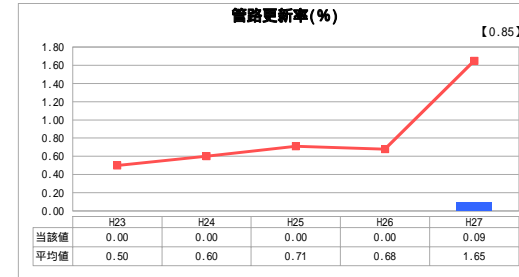
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

27年度に100%を上回ることになったが、これは職員による異動と一時的な負担金等の増加によるものである。
 累積欠損比率は発生していない。
 400%を超えることから短期債務に対する支払い能力は確保されているといえる。
 給水収益に対する企業債残高が増加傾向にあるので、今後は、企業債の発行を抑制する必要がある。
 毎年度100%を下回っていることから給水に係る費用が給水収益で賄えていない状況にある。
 有収水量1m³あたりの給水原価は、平均値よりも低く抑えられており、費用効率は良いといえる。
 概ね平均値水準である。
 27年度急激に悪化しており、今後はこれ以上の悪化にならないよう注視する必要がある。
 以上のことから、料金回収率、有収率が低水準にあることから、健全経営ができていないと決まっていえない。

2. 老朽化の状況について

ここ2年は、概ね平均値水準である。数値が100%に近いほど資産が法定耐用年数に近づいていることを表している。
 平均値より高い、しかも増加傾向にある。
 平均値よりかなり低い、つまり更新がまったく進んでいないことを表している。
 以上のことから、法定耐用年数を迎える施設の増加が見込まれるため、計画的早期に更新を行うことが課題である。

全体総括

本町の水道事業経営は決して良好とはいえず、適切な料金水準の確保が必要である。今後は、施設の急激な老朽化に伴い、更新にかかる費用も確保する必要があるため、安定的かつ計画的に水道経営を行う上では、他の事業者と比べて大幅に安い価格設定である水道料金の改正を急ぐ必要がある。